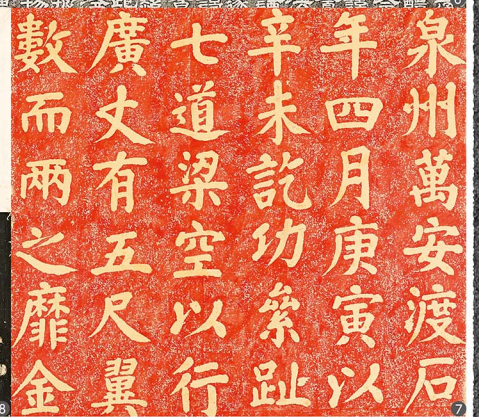


拓本のたのしみ

Calligraphic Rubbings

東京国立博物館・台東区立書道博物館 連携企画



拓本のたのしみ — 明清文人の世界 —

Calligraphic Rubbings:
Tracing the World of Ming- and Qing-Dynasty Scholars

2025年
1月2日(木)~3月16日(日) 前期 1月2日(木)~2月2日(日)
後期 2月4日(火)~3月16日(日)

TNM 東京国立博物館 (東洋館8室)
TOKYO NATIONAL MUSEUM

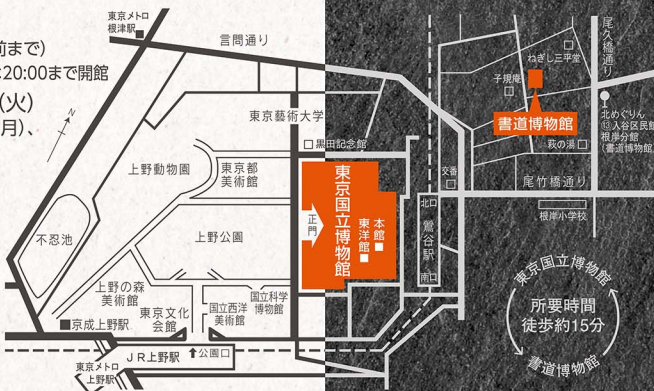
開館時間 9:30~17:00 (入館は閉館の30分前まで)
※金・土曜日、1月12日(日)、2月23日(日)は20:00まで開館
休館日 月曜日、1月14日(火)、2月25日(火)
※ただし、1月13日(月・祝)、2月10日(月)、
2月24日(月・休)は開館

観覧料 一般 1,000円
大学生 500円

- 高校生以下および満18歳未満、満70歳以上の方は無料です。入館の際に年齢のわかるもの(生徒手帳、健康保険証、運転免許証など)をご提示ください。
- 障がい者とその介護者各1名は無料です。入館の際に障がい者手帳等をご提示ください。
- 特別展「日曜織御所 大覚寺一百花繡乱 御所ゆかりの絵画-「Hello Kitty展-わたしが変わるとキティも変わる-」は別途観覧料が必要です。

[住所] 東京都台東区上野公園13-9
[電話] 050(5541)8600(ハローダイヤル)
[ウェブサイト] <https://www.tnm.jp/>

東京国立博物館までの交通機関
JR上野駅公園口・鶯谷駅南口より徒歩10分
東京メトロ銀座線・日比谷線 上野駅、千代田線根津駅、
京成電鉄京成上野駅より徒歩15分



拓本のたのしみ — 王羲之と欧陽詢 —

Calligraphic Rubbings:
Wang Xizhi and Ouyang Xun

2025年
1月4日(土)~3月16日(日) 前期 1月4日(土)~2月2日(日)
後期 2月4日(火)~3月16日(日)

書道博物館
CALLIGRAPHY MUSEUM

開館時間 9:30~16:30
(入館は閉館の30分前まで)
休館日 月曜日、1月14日(火)、
2月25日(火)
※ただし、1月13日(月・祝)、
2月24日(月・休)は開館

観覧料 一般・大学生 500円(300円)
高・中・小学生 250円(150円)
()内は20名以上の団体料金

- 障がい者手帳、療育手帳、精神障がい者福祉手帳、特定疾患医療受給者証の提示者とその介護者は無料です。
- 毎週土曜日は台東区在住・在学の小・中学生とその引率者が無料です。

[主催] (公財) 台東区芸術文化財団
[住所] 東京都台東区根岸2-10-4
[電話] 03(3872)2645
[ウェブサイト] <https://www.taitogeibun.net/shodou/>

書道博物館までの交通機関
JR鶯谷駅北口より徒歩5分、台東区循環バス「北めぐりん」⑧入谷区民館根岸分館(書道博物館)より徒歩3分

※会期・開館日・開館時間・展示作品・展示期間・関連イベント・入館方法等については、今後の諸事情により変更する場合があります。詳しくは各館ウェブサイト等でご確認ください。

① 九成宮醜泉銘-海内第一本- 欧陽詢筆 唐時代・貞觀6年(632) 三井記念美術館蔵【前期】 ②、③ 九成宮醜泉銘 欧陽詢筆、唐時代・貞觀6年(632) 台東区立書道博物館蔵【後期】 ④ 孟法師碑-唐拓孤本- 褚遂良筆 唐時代・貞觀16年(642) 三井記念美術館蔵【後期】 ⑤、⑥ 大智禪師碑 史性則筆 唐時代・開元24年(736) 東京国立博物館蔵【前期】 ⑦ 万安橋記 蔡襄筆 北宋時代・嘉祐5年(1060) 東京国立博物館蔵【前期】 ⑧ 万安橋記 蔡襄筆 北宋時代・嘉祐5年(1060) 高島菊次郎氏寄贈 東京国立博物館蔵【前期】 ①~④ 台東区立書道博物館で展示、⑤~⑧ 東京国立博物館で展示

関連イベント

東京国立博物館

▶連携講演会「拓本のたのしみ」

六人部克典 (東京国立博物館)
鍋島稲子 (台東区立書道博物館)
日時: 2025年2月15日(土) 13:30~15:00
会場: 東京国立博物館 平成館大講堂
定員: 380名(事前申込制、応募者多数の場合は抽選)
聴講無料 要観覧料



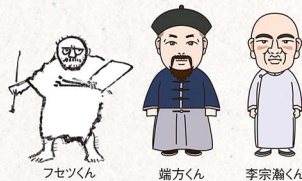
東京国立博物館公式キャラクター トーハクくん ユリノキちゃん

申込方法: 東京国立博物館ウェブサイトの申込フォームからお申込ください。申込はお1人につき1回までです(1回の入力で1名のみ申込可)。
申込期間: 2024年12月13日(金) ~2025年1月6日(月)

台東区立書道博物館

▶ギャラリートーク「拓本のたのしみ」

中村信宏、春田賢次朗 (台東区立書道博物館)
日時: 2025年1月12日(日)、2月2日(日)、3月2日(日)
いずれも10:00、11:00、13:30、14:30(各回50分)
会場: 台東区立書道博物館
定員: 各回20名(事前申込不要、当日先着順にて整理券を配布)



フセツくん 端方くん 李宗瀚くん

要観覧料

▶夜桜漫談「黒老虎-拓本の光と闇-」

富田淳 (九州国立博物館)
鍋島稲子 (台東区立書道博物館)
日時: 2025年3月6日(木) 18:00~19:30
会場: ミレニアムホール(台東区生涯学習センター2F)
定員: 300名(事前申込制、先着順)
聴講無料

申込方法: 書道博物館ウェブサイトの申込フォームまたは往復はがきでお申込ください。
申込期間: ウェブサイト 2025年1月6日(月)~3月5日(水) 往復はがき 2025年2月20日(木) 必着
【往復はがきの場合】「往信用裏面」に、郵便番号、住所、氏名(ふりがな)、電話番号、年齢を、「返信用表面」に郵便番号、住所、氏名を明記し、下記までお申込ください。
申込先: 〒110-0003 台東区根岸2-10-4 書道博物館イベント係

▶ワークショップ「拓本に挑戦!」

日時: 2025年1月12日(日)、2月2日(日)、3月2日(日)
いずれも9:30~16:00(事前申込不要)
要参加費(100円)

拓本のたのしみ

Calligraphic Rubbings

この世に唯一の名筆を共有するため、唐時代には皇帝が超絶技巧を駆使した精巧な模本を作らせ、臣下に下賜しました。しかし模本は大量に制作することが困難です。現存する最古の拓本は唐時代の作例で、当時すでに石碑が拓本にとられ、普及していました。

宋時代になると拓本の技術も格段に向上し、制作、鑑賞、研究が盛行しました。時代の古い拓本や、工芸意匠の粋を尽くした拓本は、収蔵家の垂涎的となり、鑑賞や研究の水準は清時代に頂点に達しました。

東京国立博物館と台東区立書道博物館の連携企画第22弾では、拓本のたのしみ方をさまざまな視点からご紹介します。石碑が亡失した天下の孤本、王羲之や唐の四大家ら歴代名筆の拓本、そして拓本に魅せられた明清文人の高雅な世界など、拓本の持つ魅力を存分にご堪能ください。

三井記念美術館

2024年11月23日(土・祝)~2025年1月19日(日)
「唐ごのみ一国宝 雪松園と中国の書画-」では、聴水閣コレクションから、世界屈指の名拓である石鼓文や蘭亭序、三井高堅の父である高敏が収集した初公開の拓本などを展示します!

東京国立博物館 東洋館8室



焦山周鼎銘[部分]
西周時代・前9~前8世紀
高島菊次郎氏寄贈
東京国立博物館蔵 前期



雁塔聖教序[部分] 褚遂良筆
唐時代・永徽4年(653)
高島菊次郎氏寄贈
東京国立博物館蔵 後期

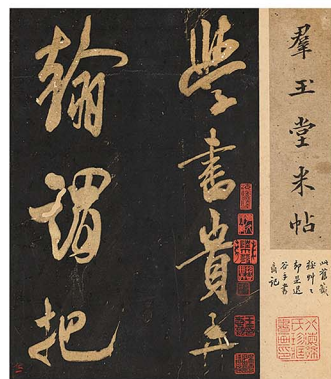
台東区立書道博物館



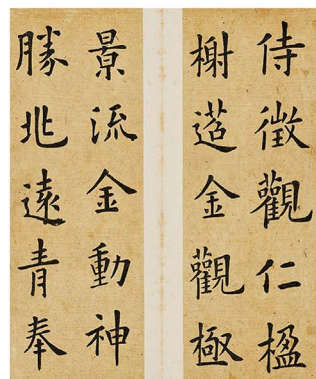
十七帖-上野本-[部分]
原跡:王羲之筆
原跡:東晋時代・4世紀
京都国立博物館蔵 前期



崔敬邕墓誌銘[部分]
北魏時代・熙平2年(517)
台東区立書道博物館蔵 後期



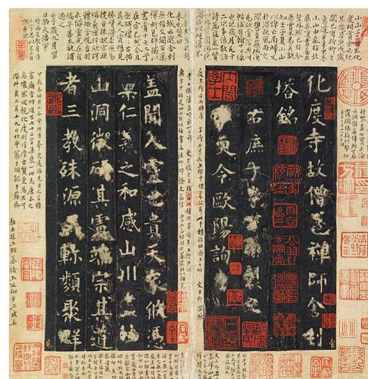
群玉堂米帖[部分] 原跡:米芾筆、韓侂胄編
原跡:北宋時代・11~12世紀
編纂:南宋時代・12~13世紀
高島菊次郎氏寄贈 東京国立博物館蔵 前期



模九成宮醴泉銘冊[部分] 翁方綱撰
清時代・乾隆56年(1791)
高島菊次郎氏寄贈 東京国立博物館蔵 後期



孔子廟堂碑-唐拓孤本-[部分]
虞世南筆
唐時代・貞觀2~4年(628~630)
三井記念美術館蔵 後期



重要文化財 化度寺碑-翁方綱本-[部分]
歐陽詢筆
唐時代・貞觀5年(631)
大谷大学博物館蔵 前期